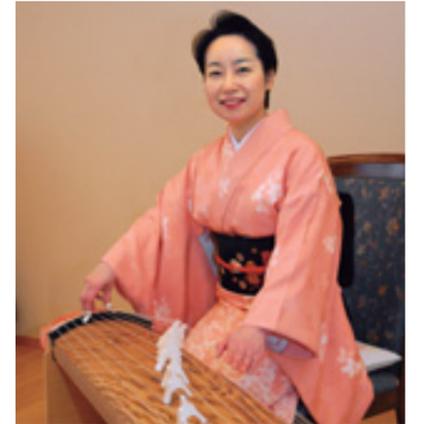


いきいき  
まえばし人



箏曲演奏会を自主企画

下野戸 亜弓さん・46歳  
古市町

邦楽に触れるきっかけづくりを

箏の音色に合わせた歌と語りで魅了する「山田流箏曲」。江戸で派生し、能や浄瑠璃の要素が取り入れられているのが特徴だ。その演奏家として、市内外で幅広く活動している。「箏の魅力は無限の可能性を秘めているところ。調弦や音色、弾き方にも、新しい手法がまだまだ隠れています。そこに歌や語り加わることによって、さらに世界が広がっていくんです」

箏との出会いは小3のとき。伯母が箏の先生をしていたのをきっかけに、近所の教室に通い始めた。その後、努力を重ねて、難関の東京芸術大に入学。

「受験のときの努力と苦労は今でも忘れられません。その経験があったから、今の自分が存在しているんだと思います」

大学院修了後、同大の非常勤講師を務めながら研さんを積み、平成5年に初りサイトルを開催。以後、工夫を凝らした自主企画を展開している。3月に行われた「邦楽・夢コンサート」で歌と語りによる宮沢賢治の世界では、宮沢賢治の歌曲や童話を弾き語り披露。目でも楽しめるよう、切り絵映像とのコラボレーションを企画した。

「もっと多くの人に、箏曲をはじめとした邦楽に触れてほしい。まずはそのきっかけづくりができればと思っています。今度は洋楽器との共演も考えているんですよ」

これからの箏の音色のように優しい笑顔で、みんなの心に響く活動を続けていってほしい。



渋川へのアクセスが向上

3月20日、本市田口町と渋川市半田を結ぶ国道17号前橋渋川バイパスが暫定開通しました。午後3時の供用開始に先立ち、式典やテープカットを実施。新設された「新坂東橋」では、開通を待ちわびた地元住民らが、車両の通行に先立ち通り初めを行いました。

新しい副市長に齋藤秀美氏



齋藤秀美氏

4月1日付で、副市長に齋藤秀美氏が就任しました。秘書課長、総務部参事、建設部長を歴任。豊富な行政経験を生かし、高木市長を補佐して、市政の運営に力を尽くしていきます。

迫力のサウンドが鳴り響く



色とりどりの花の共演会

J A全農ぐま花木流通センターで3月12日・13日の2日間、花共進会を行いました。この共進会は、花き栽培技術の向上を目的として、毎年この時季に開催。生産者が手塩にかけて育てた花や植木など約170点を展示。13日には即売会も実施し、売り切れ商品が続出するなど、たくさんの人でにぎわいました。

市民文化会館で3月20日、中学生によるプラス！オンステージを開催しました。市内中学校の吹奏楽部が勢ぞろいし、3校1組となって練習の成果を披露。演奏に合わせて手拍子が起こるなど、会場は大いに盛り上がりました。



平安時代の一大事業

上泉町から伊勢崎市国定町まで、約13キロにわたって続く女堀。平安時代末に、一気に水を運ぶことを目的として造られた用水堀の跡です。このうち、城南地区の富田、東西女堀沼、二之宮、飯土井、城南工業団地、東大室の6地区5・6鈔が昭和58年に国の史跡として指定されました。

女堀はさまざまな伝説のある遺跡ですが、いつ誰が何のために造ったのかということが全く記録に残っていません。その女堀に昭和54年初めて発掘調査のメスが入り、伝説と実際の遺跡が突合されることになったのです。この調査の結果、平安時代の末期に造られたことが分かりました。

とが分かりました。それは、盛り上げた土の下から1108（天仁元）年に噴火した浅間山の火山灰が見つかったからです。この火山灰の降灰は、県下の田畑に壊滅的な被害を与えています。その荒れ果てた耕地や畑地帯を貫いて、当時の工事は進められたのです。

女堀は2段構造で、上幅は約30鈔、深さ3鈔。実際に水を流すのはその下にある幅6鈔、深さ1鈔の細い溝で、途中分水すること無く施工されています。しかし、傾斜が小さく水が流れないという欠点があり、未完成に終わっていることも分かりました。

大量の水を引き、浅間山火山の降灰により放棄された水田の再生を目指した計画は、大正用水や群馬用水に先行すること900年以上も前に計画されたもの。未完に終わったとはいえ、この発想は中世の幕開けを告げる一大プロジェクトであったといえるのではないのでしょうか。

いにしえ  
万華鏡  
その十三

赤城山のすそ野を貫く巨大用水堀跡  
国指定史跡 女堀

問い合わせは 文化財保護課 223-1-9531